

令和元年度
奥多摩町まちづくり住民アンケート調査
結果報告書

令和2年1月

東京都 奥多摩町

目 次

1. 調査の概要	1
1.1. 調査の目的	1
1.2. 調査の方法	1
1.3. 回収状況	1
2. 調査結果	2
【問1】回答者の性別	2
【問2】回答者の年齢	2
【問3】回答者の同居人	3
【問4】回答者の居住地区	3
【問5】町の住み良さ	4
【問6】町の居留意向	5
【問7】幸福度の評価	6
【問8】奥多摩創造プロジェクトの評価	7
【問9】主要施策の「満足度」及び「今後の重要度」の評価.....	8
【問10】住民満足度を評価指標とする主要施策の評価	12
【問11】町の行政運営への満足度	14
【問12】町に対する意見・要望	16
3. 資料	18
調査票	18

1. 調査の概要

1.1. 調査の目的

この調査は、奥多摩町のまちづくりや施策、町政運営等に対する評価・意向を把握するために実施しました。

1.2. 調査の方法

- (調査地域) 奥多摩町全域
(調査対象) 奥多摩町に居住する16歳以上の住民1,500名
※ 住民基本台帳より無作為抽出
(調査方法) 郵送による配布・回収
(調査時期) 令和元年8月19日～9月9日

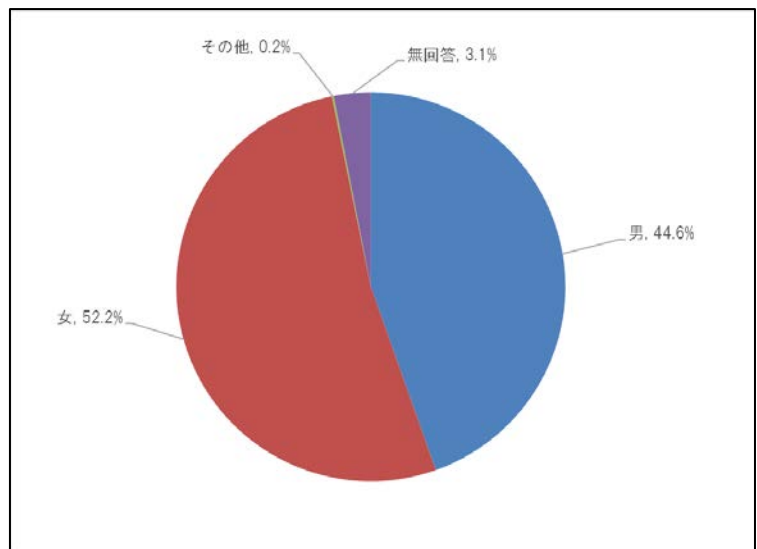
1.3. 回収状況

- (配布数) 1,500票
(有効回収数) 590票
(有効回収率) 39.3%

2. 調査結果

【問1】 あなたの性別を選択してください。

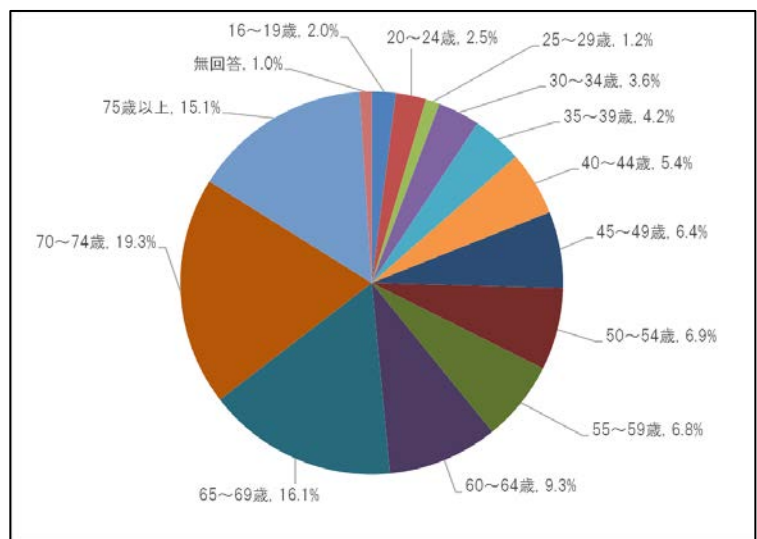
回答者の性別の割合は、「男性」が44.6%、「女性」が52.2%、「その他」が0.2%となっており、「女性」が最も多くなっています。



【問2】 あなたの年齢を選択してください。

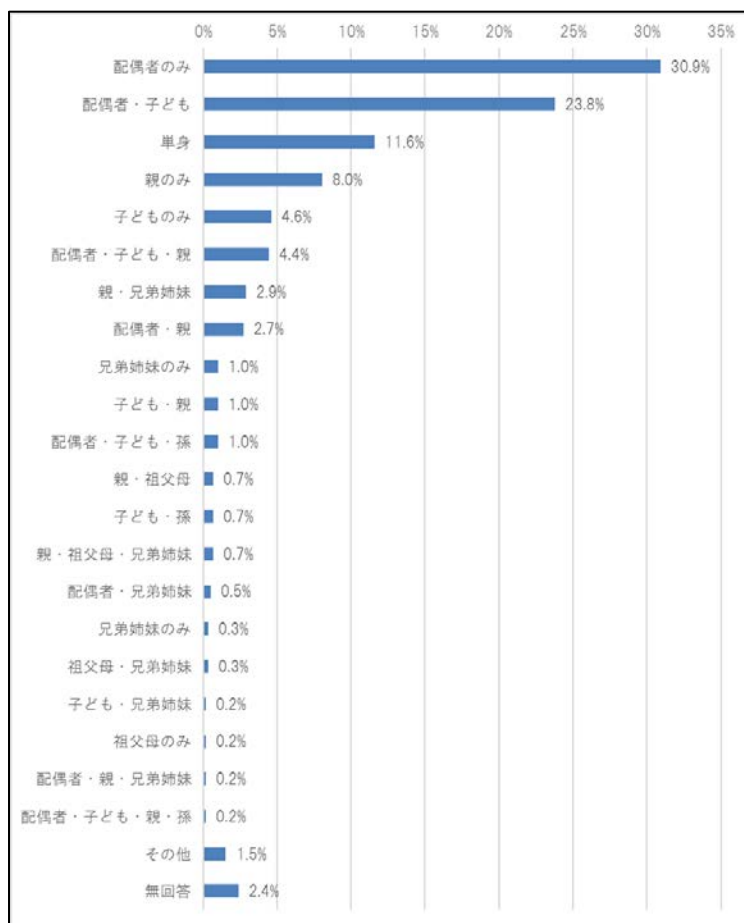
回答者の年齢の割合は、「70～74歳」が19.3%で最も多く、次いで「65～69歳」が16.1%、「75歳以上」が15.1%となっています。

65歳以上の回答者が50.5%と、約半数を占めています。



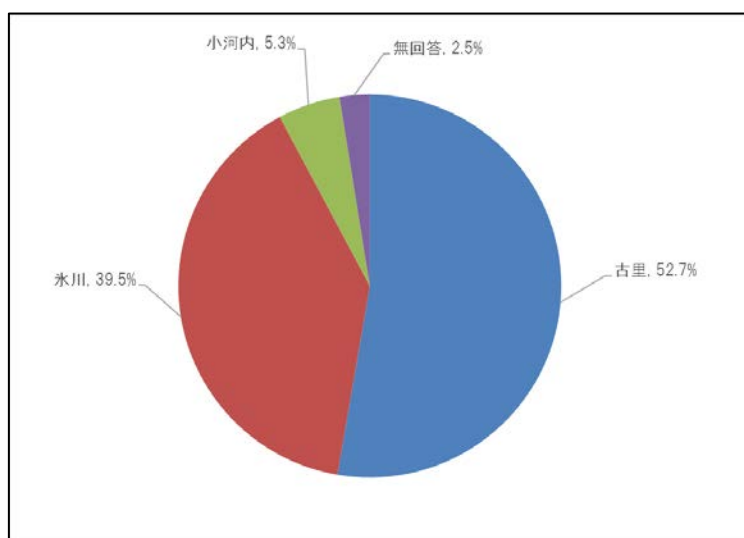
【問3】 あなたと同居されている方を選択してください。

同居人の割合は、「配偶者のみ」が30.9%で最も多く、次いで「配偶者・子ども」が23.8%、「単身」が11.6%となっています。

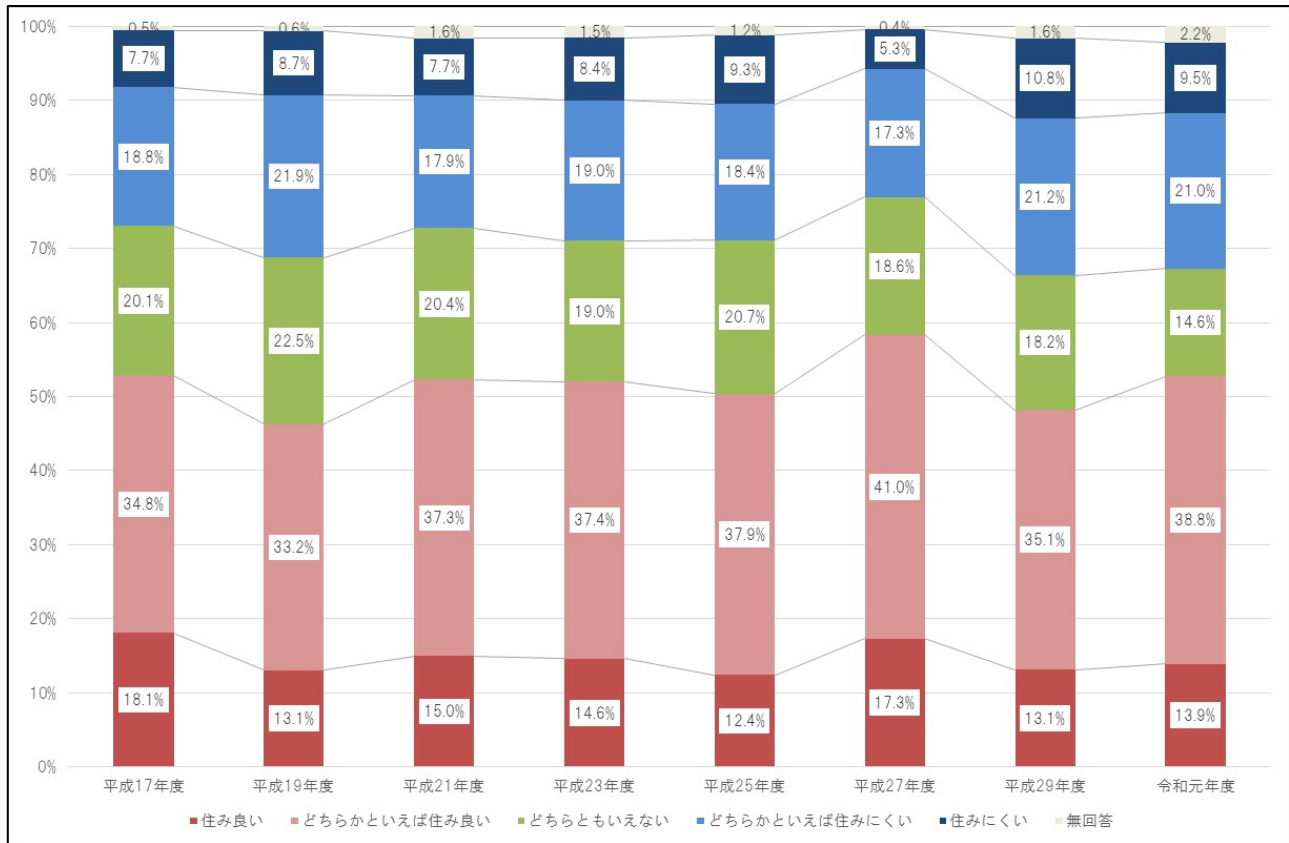


【問4】 あなたのお住まいの地区を選択してください。

居住地区の割合は、「古里」が52.7%で最も多く、次いで「氷川」が39.5%、「小河内」が5.3%となっています。



【問5】 あなたは、現在の奥多摩町の住み良さをどのように感じですか。

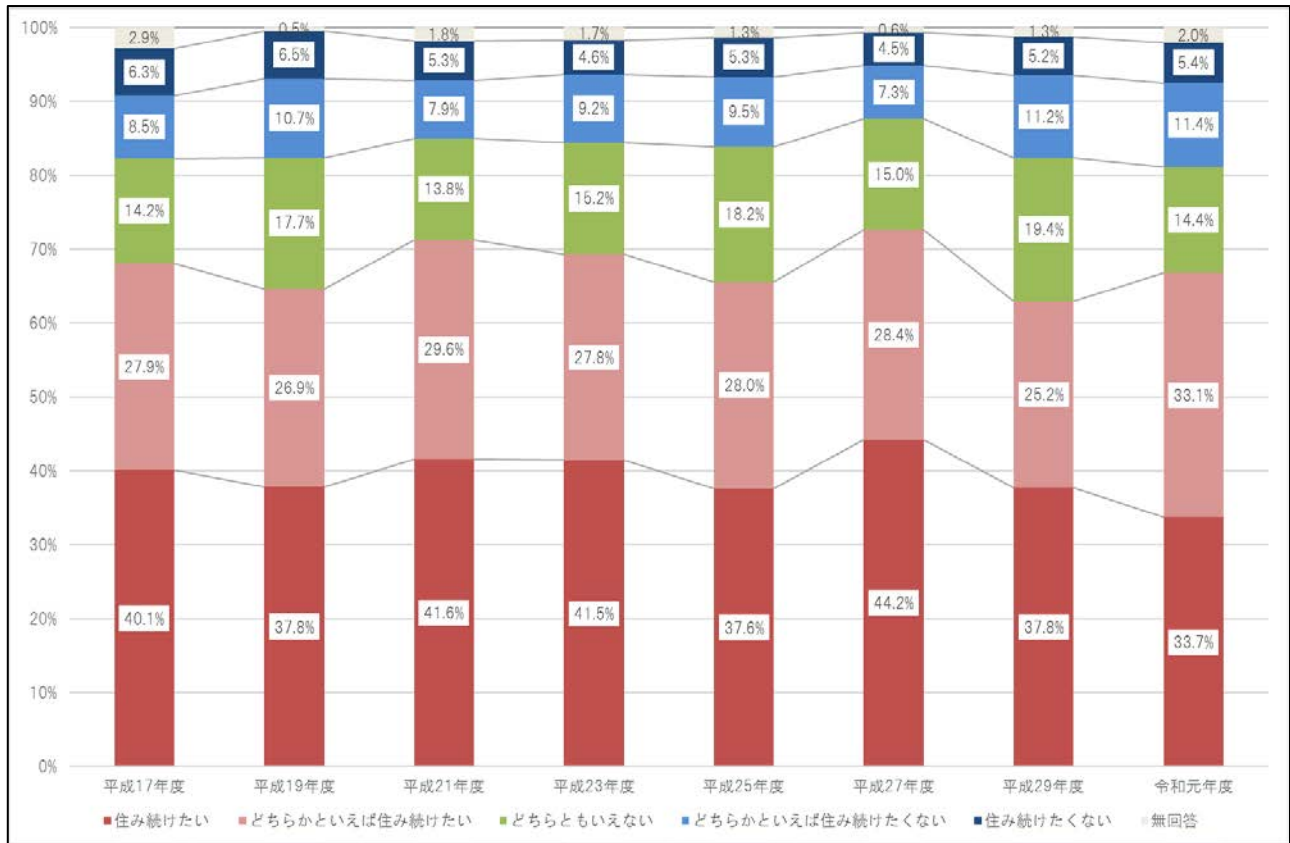


町の住み良さについて、「住み良い」（「住み良い」または「どちらかといえば住み良い」と回答した割合は52.7%となっています。一方、「住みにくい」（「住みにくい」または「どちらかといえば住みにくい」と回答した割合は30.5%となっており、「住み良い」と回答した割合の方が多くなっています。

過去の調査結果と比較すると、今回の調査結果における「住み良い」の回答割合52.7%は、前回（平成29年度）調査における割合48.2%より、4.5%上回っており、「住み良い」と感じている住民が増加したことがわかります。一方、平成17年度からの推移では、一定の傾向は見られず、年度により増減が見受けられます。

「住みにくい」と回答した理由（自由記述）については、「交通の便が悪い」「買い物できる店が少ない」「医療機関が少ない」「仕事がない」という意見が多くありました。

【問6】 あなたは、これからも奥多摩町に住み続けたいですか。

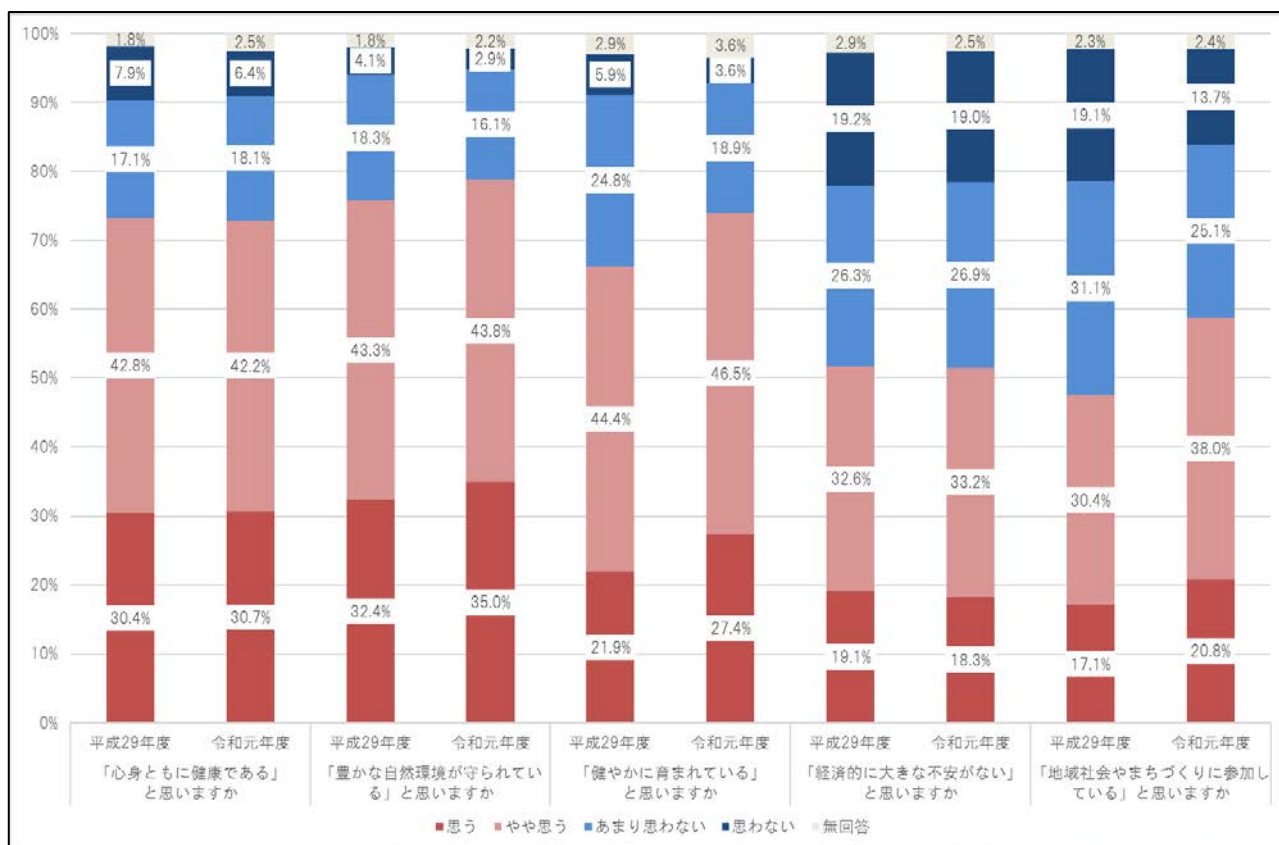


町の居住意向について、“住み続けたい”（「住み続けたい」または「どちらかといえば住み続けたい」）と回答した割合は66.8%となっています。一方、“住み続けたくない”（「住み続けたくない」または「どちらかといえば住み続けたくない」）と回答した割合は16.8%となっており、“住み続けたい”と回答した割合の方が多くなっています。

過去の調査結果と比較すると、今回の調査結果における“住み続けたい”の回答割合66.8%は、前回（平成29年度）調査における割合62.9%より、3.9%上回っており、“住み続けたい”と思う住民が増加したことがわかります。一方、平成17年度からの推移では、一定の傾向は見られず、年度により増減が見受けられます。

“住み続けたくない”と回答した理由（自由記述）については、問5とほぼ同様であり、「交通の便が悪い」「買い物できる店が少ない」「医療機関が少ない」という意見が多くありました。

【問7】『第5期奥多摩町長期総合計画』では、住民の皆さまの幸福度向上を目指すこととしています。現在のあなたご自身の幸福度をどう評価しますか。



幸福要素1: 「心身ともに健康である」と思う住民割合

“健康である”（「思う」または「やや思う」）と回答した割合は72.9%となっており、前回（平成29年度）調査とほぼ同等の値です。

幸福要素2: 「豊かな自然環境が守られている」と思う住民割合

“守られている”（「思う」または「やや思う」）と回答した割合は78.8%となっており、前回（平成29年度）調査より3.1%増えています。

幸福要素3: 「健やかに育まれている」と思う住民割合

“育まれている”（「思う」または「やや思う」）と回答した割合は73.9%となっており、前回（平成29年度）調査より7.6%増えています。

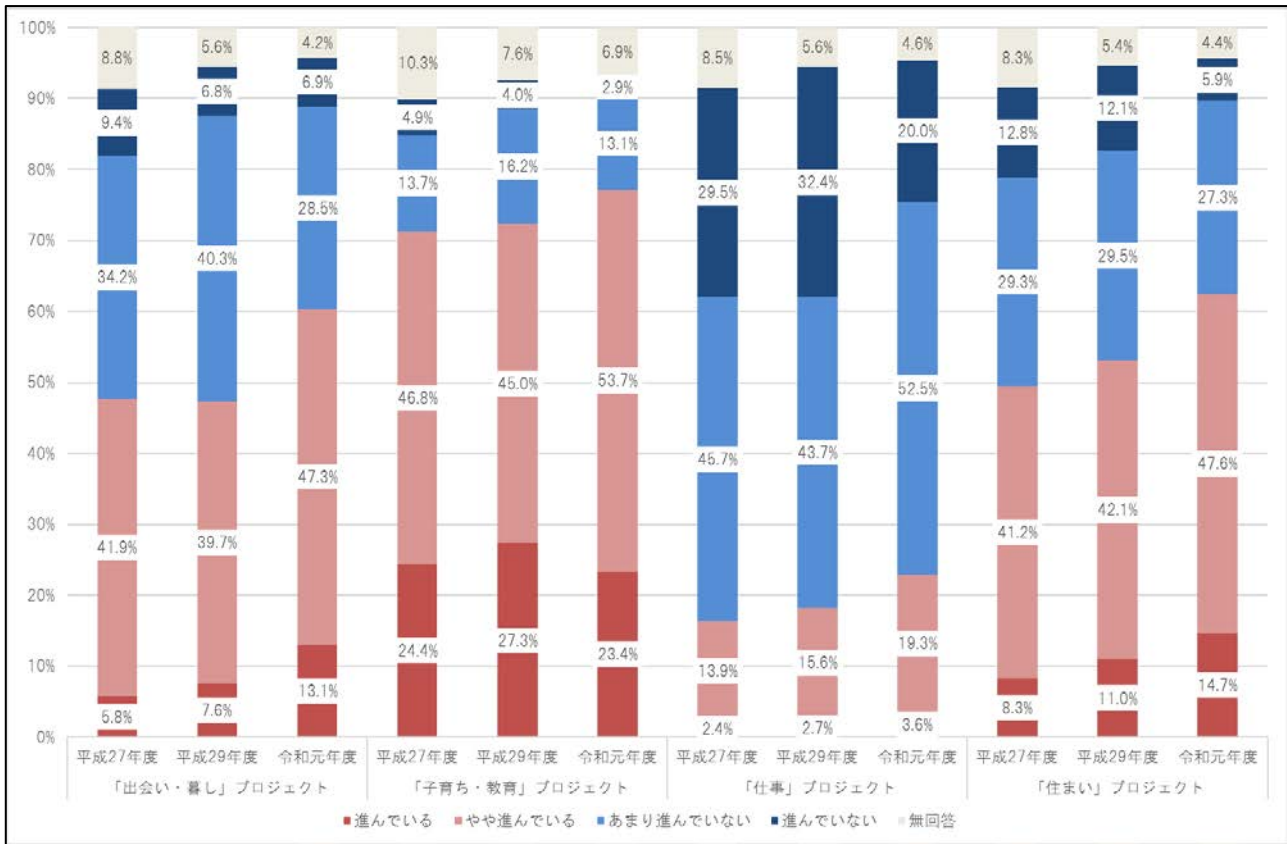
幸福要素4: 「経済的に大きな不安がない」と思う住民割合

“大きな不安がない”（「思う」または「やや思う」）と回答した割合は51.5%となっており、前回（平成29年度）調査とほぼ同等の値です。

幸福要素5: 「地域社会やまちづくりに参加している」と思う住民割合

“参加している”（「思う」または「やや思う」）と回答した割合は58.8%となっており、前回（平成29年度）調査より11.3%増えています。

【問8】 『第5期奥多摩町長期総合計画』では、目指す将来像の実現に向け『奥多摩創造プロジェクト』を重点的に推進することとしています。この奥多摩創造プロジェクトを推進するにあたり、現在の状況をあなたはどのように評価しますか。



“進んでいる”（「進んでいる」または「やや進んでいる」）と回答した割合が、“進んでいない”（「進んでいない」または「あまり進んでいない」）と回答した割合を上回っているプロジェクトは、

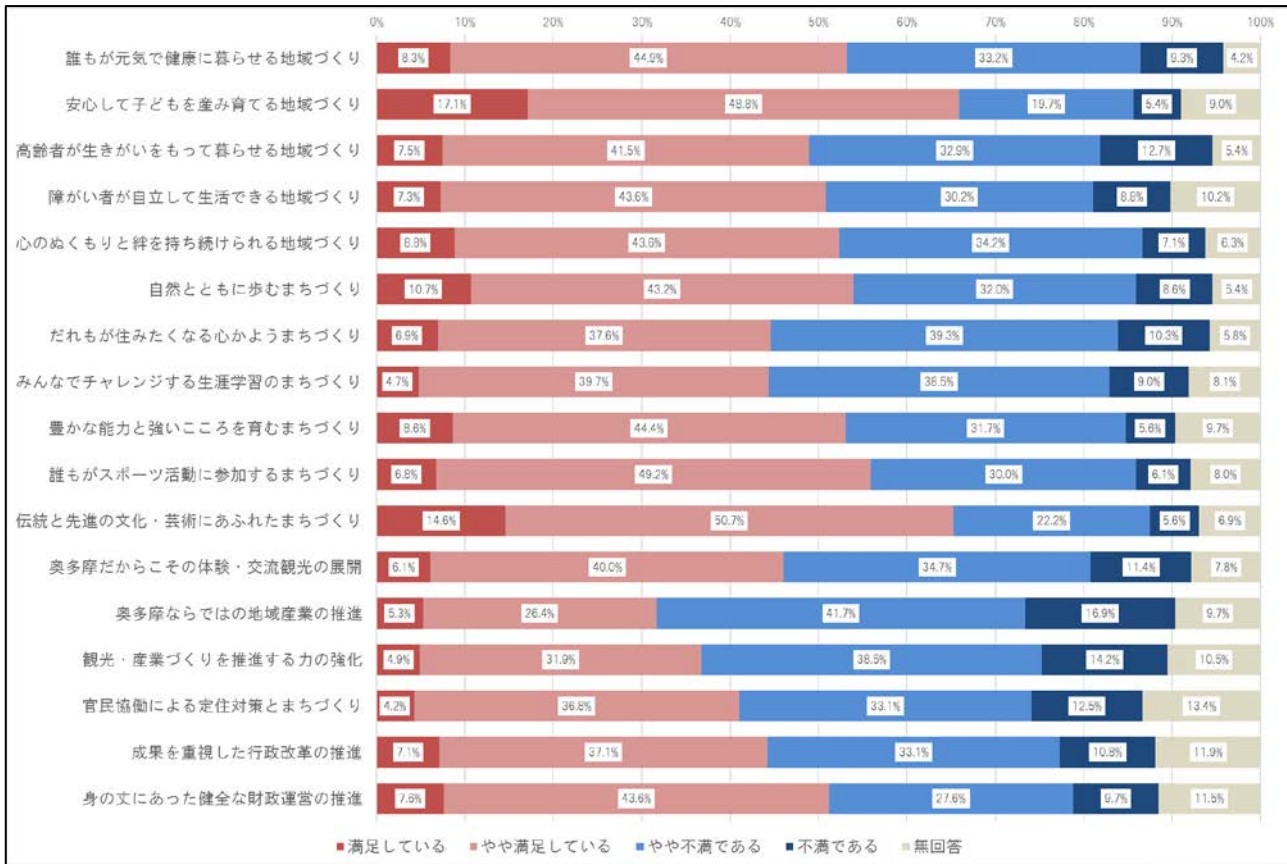
- ・「出会い・暮らし」プロジェクト
- ・「子育て・教育」プロジェクト
- ・「住まい」プロジェクト

となっており、“進んでいる”の回答割合は、「子育て・教育」プロジェクトの77.1%が最も高く、次いで「住まい」プロジェクトの62.4%、「出会い・暮らし」プロジェクトの60.3%となっています。いずれのプロジェクトにおいても、前回（平成29年度）調査及び前々回（平成27年度）調査よりも、“進んでいる”の回答割合が増えています。

一方、「仕事」プロジェクトについては、“進んでいない”の回答割合が72.5%を占めており、“進んでいる”の回答割合22.9%を大きく上回っています。前回（平成29年度）調査及び前々回（平成27年度）調査と比較すると、“進んでいる”の回答割合は若干増加傾向にありますが、他プロジェクトと比較すると、低い値となっています。

【問9】 『第5期奥多摩町長期総合計画』では、5つの行政分野に計17の施策の方向（主要施策）を定めています。この17の施策についての「満足度」、また、「今後の重要度」について、どのように評価しますか。

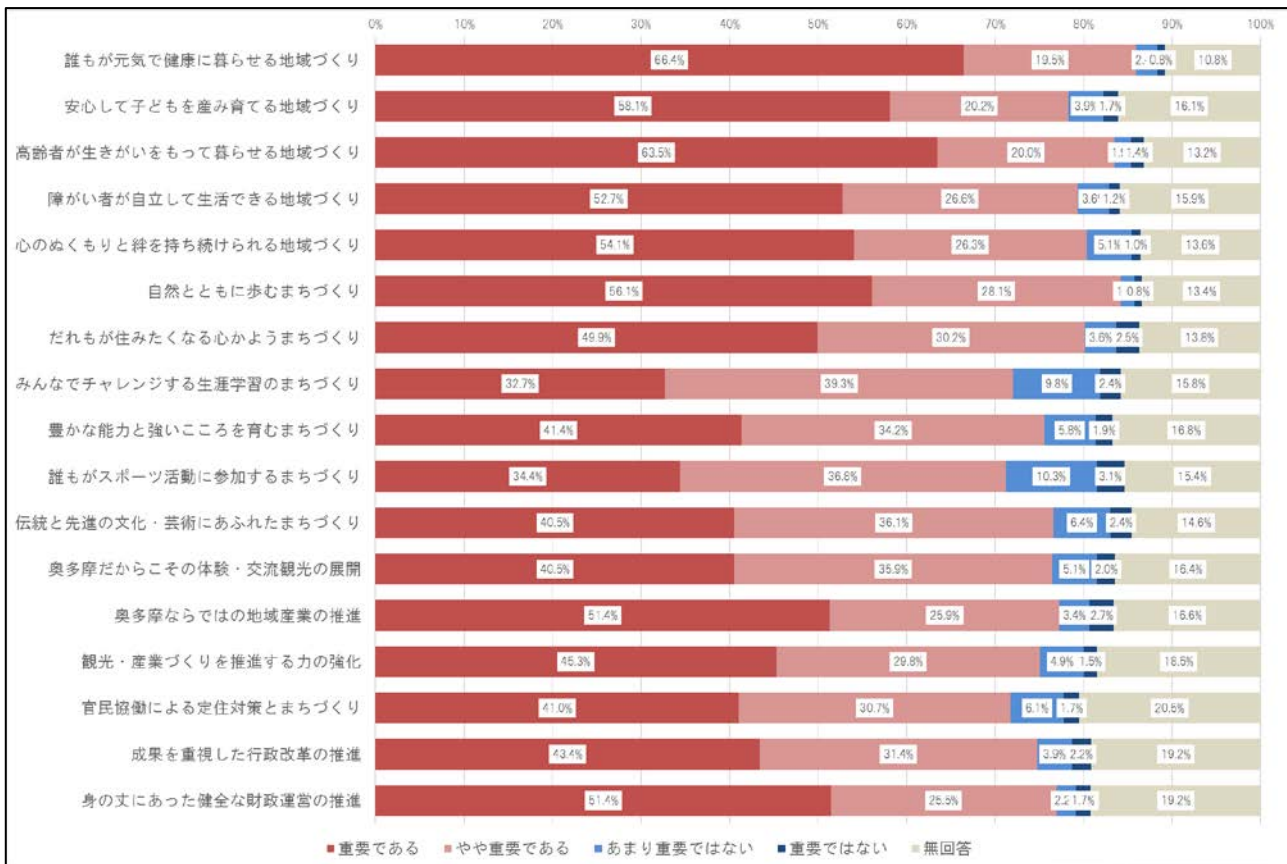
【満足度】



“満足している”（「満足している」または「やや満足している」）と回答した割合が最も多い施策は、「安心して子どもを産み育てる地域づくり」で割合は65.9%、次いで「伝統と先進の文化・芸術にあふれたまちづくり」で割合は65.3%となりました。

一方、“不満である”（「やや不満である」または「不満である」）と回答した割合が最も多い施策は、「奥多摩ならではの地域産業の推進」で割合は58.6%、次いで「観光・産業づくりを推進する力の強化」で割合は52.7%となりました。

【重要度】



17の施策全てにおいて、“重要である”（「重要である」または「やや重要である」）と回答した割合が70%を超えており、中でも、「誰もが元気で健康に暮らせる地域づくり」「自然とともに歩むまちづくり」「高齢者が生きがいをもって暮らせる地域づくり」「心のぬくもりと絆を持ち続けられる地域づくり」「だれもが住みたくなる心かようまちづくり」については、80%以上が“重要である”と回答していました。

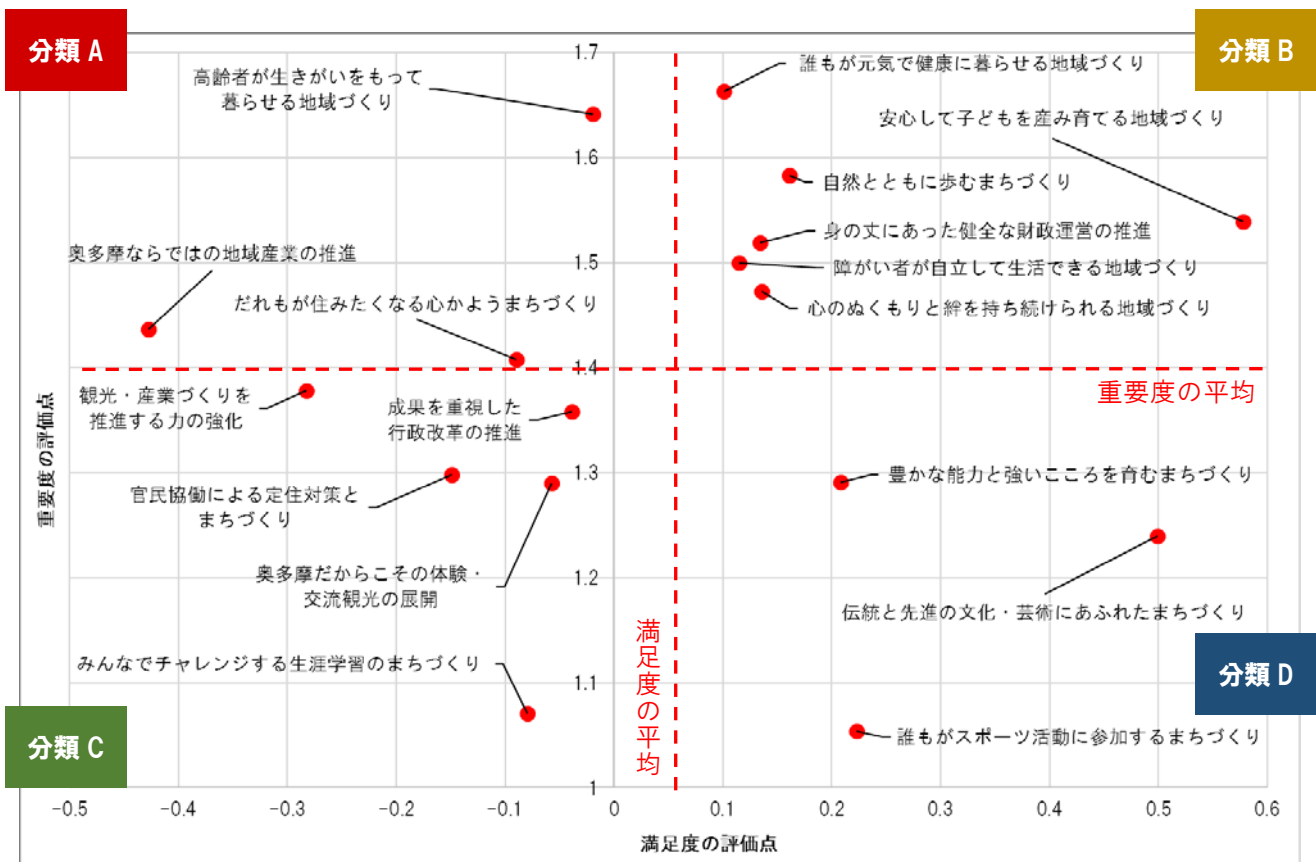
【満足度と重要度のマトリックス分析】

施策ごとの「満足度」と「重要度」を組み合わせ、施策の位置づけを分析します。分析にあたっては、「満足度」と「重要度」を「評価点」によって点数化します。具体的には、各選択肢に次のように点数をつけ、それぞれの点数に回答者数（ただし、無回答を除く。）を掛け合わせた総得点数を、回答者数で除して算出します。したがって、評価点は-2点～+2点の範囲となり、数値が大きいほど評価が高くなります。

選択肢	点数
満足している／重要である	+2点
やや満足している／やや重要である	+1点
やや不満である／あまり重要ではない	-1点
不満である／重要ではない	-2点

例えば、施策Aの満足度について、“満足している”との回答が2名、“やや満足している”との回答が1名、“不満である”との回答が2名であった場合、施策Aの満足度の評価点は、 $\{2名 \times (+2点)\} + \{1名 \times (+1点)\} + \{2名 \times (-2点)\} \div 5名 = 0.2$ と計算されます。

このように算出した「満足度」と「重要度」の評価点について、横軸を「満足度の評価点」に、縦軸を「重要度の評価点」とし、各施策をプロットすると以下のようになります。



図において「満足度」と「重要度」の評価点平均値を境界とし、各施策を4タイプに分類しました。

分類A「重点改善領域」

重要度が高い一方、満足度は低く評価されているため、重点的に対策を行う必要のある施策であると考えられます。

施策名	満足度	重要度
奥多摩ならではの地域産業の推進	-0.43	+1.44
だれもが住みたくなる心かようまちづくり	-0.09	+1.41
高齢者が生きがいをもって暮らせる地域づくり	-0.02	+1.64

分類B「重点維持領域」

重要度が高く、満足度も高く評価されているため、今後も同様もしくは現状以上の水準を保つことが要求される施策であると考えられます。

施策名	満足度	重要度
誰もが元気で健康に暮らせる地域づくり	+0.10	+1.66
障がい者が自立して生活できる地域づくり	+0.12	+1.50
身の丈にあった健全な財政運営の推進	+0.13	+1.52
心のぬくもりと絆を持ち続けられる地域づくり	+0.14	+1.47
自然とともに歩むまちづくり	+0.16	+1.58
安心して子どもを産み育てる地域づくり	+0.58	+1.54

分類C「改善領域」

重要度も満足度も低く評価されているため、優先度としては分類Aには劣るが、対策を行う必要のある施策であると考えられます。

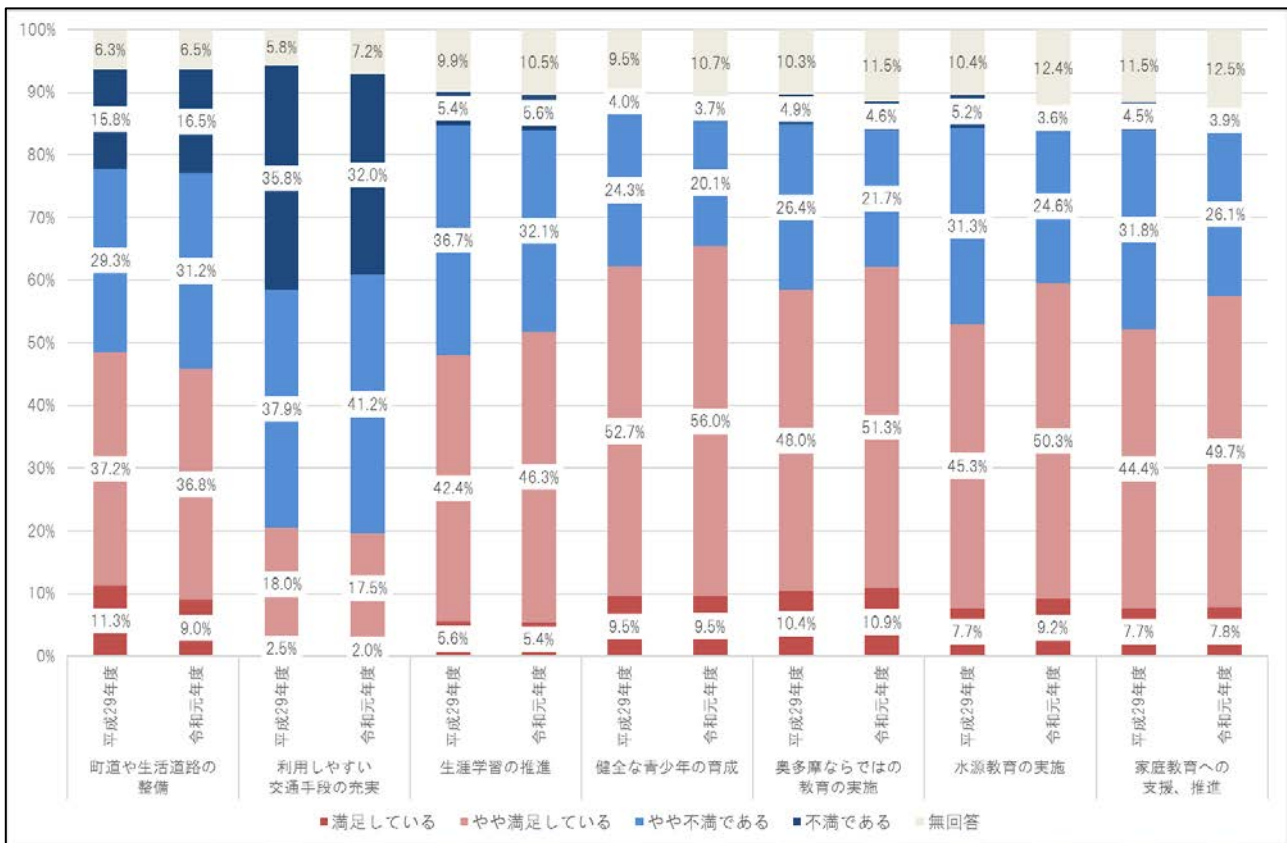
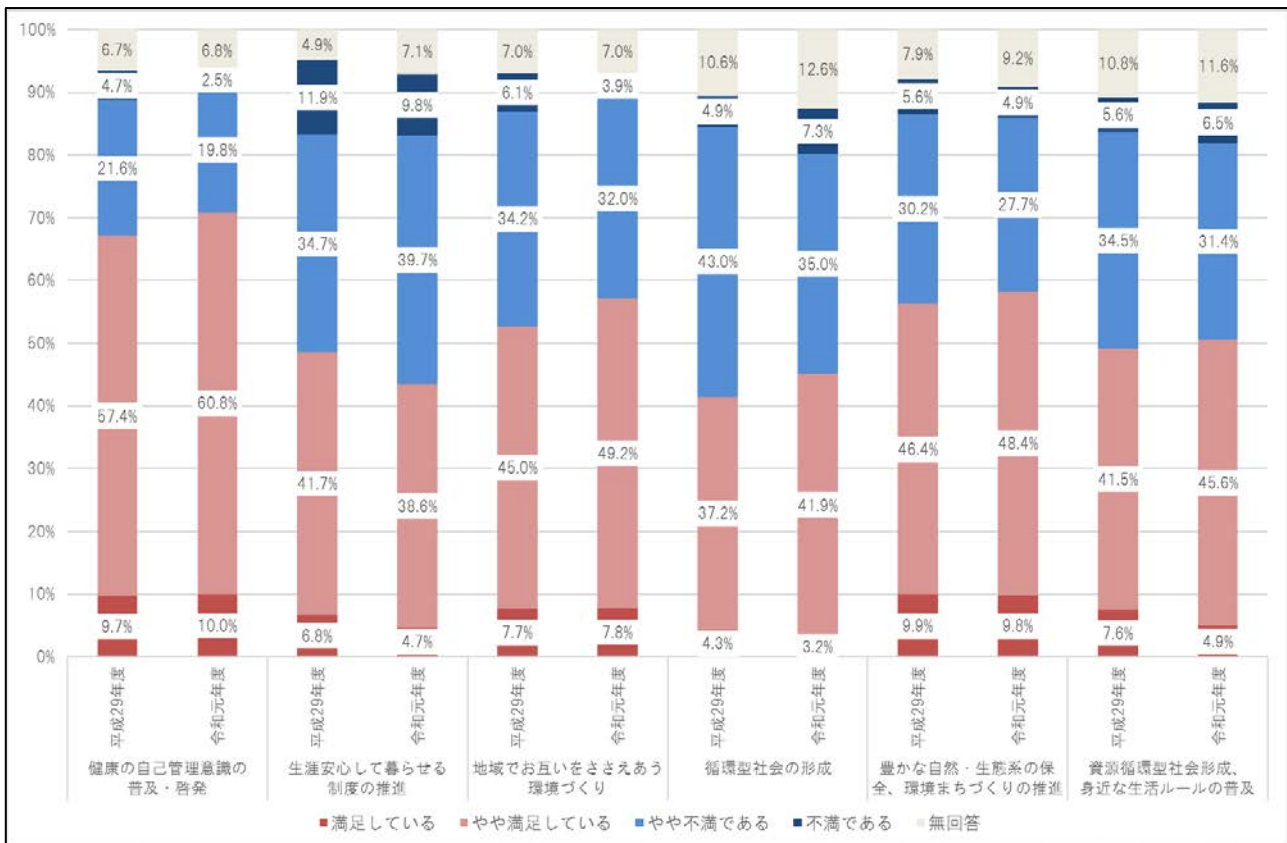
施策名	満足度	重要度
観光・産業づくりを推進する力の強化	-0.28	+1.38
官民協働による定住対策とまちづくり	-0.15	+1.30
みんなでチャレンジする生涯学習のまちづくり	-0.08	+1.07
奥多摩だからこそその体験・交流観光の展開	-0.06	+1.29
成果を重視した行政改革の推進	-0.04	+1.36

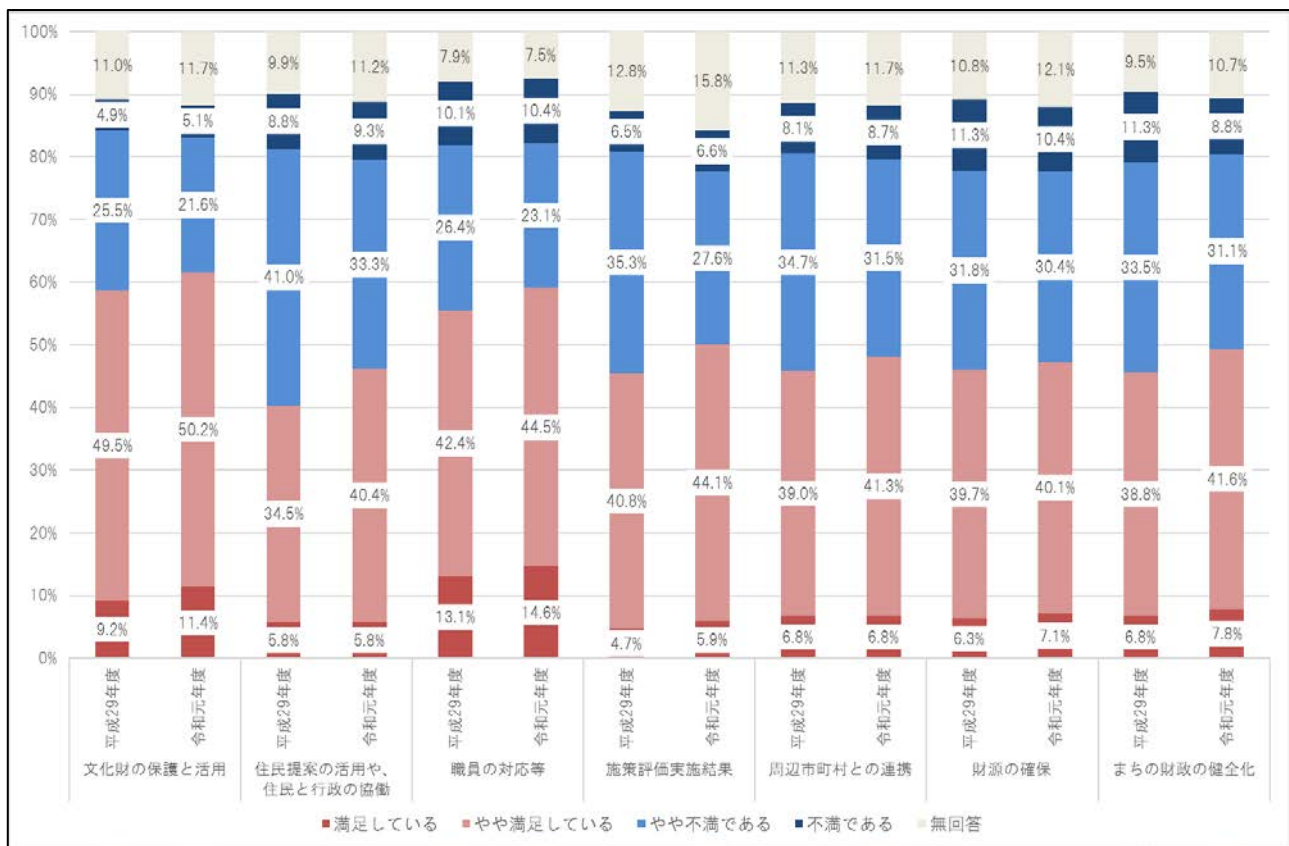
分類D「維持領域」

重要度は低いですが、満足度は高く評価されているため、今後も同様の水準を保つ方針とする施策であると考えられます。

施策名	満足度	重要度
豊かな能力と強いところを育むまちづくり	+0.21	+1.29
誰もがスポーツ活動に参加するまちづくり	+0.22	+1.05
伝統と先進の文化・芸術にあふれたまちづくり	+0.50	+1.24

【問 10】 『第 5 期奥多摩町長期総合計画』の基本計画において、住民の皆様の満足度を評価の指標とする主要施策があります。これらの主要施策について、どのように評価しますか。





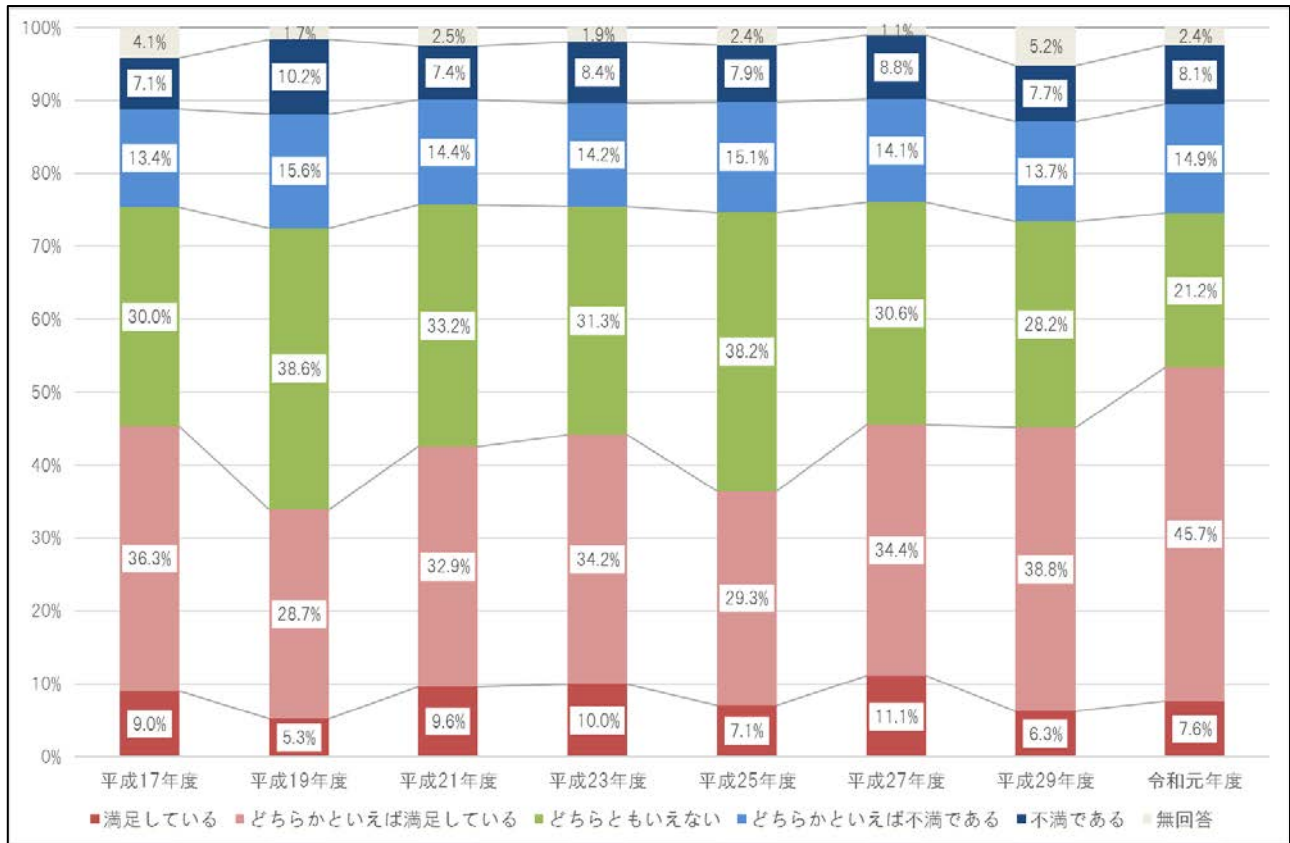
20の主要施策のうち、「健康の自己管理意識の普及・啓発」については、「満足している」（「満足している」または「やや満足している」）と回答した割合が70.8%と最も高く、次いで「健全な青少年の育成」が65.5%、「奥多摩ならではの教育の実施」が62.1%、「文化財の保護と活用」が61.6%となっています。

一方、「不満である」（「不満である」または「やや不満である」）と回答した割合が最も高いのは「利用しやすい交通手段の充実」の73.3%であり、他施策と比べて著しく高い値となっています。他に、「不満である」割合が比較的高いものとしては、「生涯安心して暮らせる制度の推進」が49.5%、「町道や生活道路の整備」が47.7%となっています。

前回（平成29年度）の調査結果と比較すると、「満足している」割合が最も増えたのは、「水源地教育の実施」で+6.5%であり、次いで「住民提案の活用や、住民と行政の協働」で+5.9%、「家庭教育への支援、推進」で+5.4%となっています。

一方、「不満である」割合が最も増えたのは、「生涯安心して暮らせる制度の推進」で+2.9%であり、次いで「町道や生活道路の整備」の+2.6%となります。

【問 11】 あなたは、現在の奥多摩町の行政運営に満足していますか。



行政運営について、“満足している”（「満足している」または「どちらかといえば満足している」）と回答した割合は53.3%となっています。一方、“不満である”（「不満である」または「どちらかといえば不満で合う」）と回答した割合は23.1%となっており、“満足している”との回答が上回っています。

過去の調査結果と比較すると、今回の調査結果における“満足している”の回答割合53.3%は、前回（平成29年度）調査における割合45.1%より、8.2%上回っており、行政運営に満足する住民が増加したことがわかります。さらに、今回の調査では、平成17年度以降で初めて、“満足している”の回答割合が50%を超えており、過去最高の値となりました。

一方で、“不満である”（「不満である」または「どちらかといえば不満で合う」）と回答した主な理由としては以下のものがありました。

働く場所が少ないから。企業などの誘致を積極的に行うべき。若者住宅がふえても就労できる場所がなければ先細りになるのは目に見えている。結局、他市に出ていってしまう。	10代 古里
医療機関が少なく、青梅の方まで行く必要がある。電車も少ない為、住みにくい。	20代 古里
地元に住み続けている住民へのサポート不足を感じることもある為。	20代 氷川
情報発信、住民サービスが不十分であると感じるため。	30代 小河内
子育て支援などは、一見進んでいる様に見えるが、将来の町の事を考えての政策は実際には行われていない様に思う。	30代 氷川
定住化にしても、観光にしても中途半端な感じは否めない。	40代 氷川
子育てはしやすくても大人の働ける場が少なすぎる。高齢者には住みにくい。	50代 氷川
様々なアイデアを持っている人の声が届きやすい行政になってほしいから。	50代 古里
人口増加のため、若者に住んでもらわなければならないのはわかるが、中高年の引っこしが最近多くなっているのにも目を向けてもらいたい。	60代 古里
地域住民へ役場が主体でやることを押し付けている感がある。	60代 古里
バスの一日の回数が少なく、2時間位待つのは普通です。年寄に何か割引券(タクシーの)でも出していただけると節にお願いします。	70代 氷川
高齢化に伴い地域で孤立している、一人暮らしの人が多い。	70代 氷川



【問12】 町に対するご意見やご要望がありましたら、何でも結構ですからご自由にお書きください。

町に対する意見や要望として、合計で240名の方々から回答がありました。内容としては、「移住定住」「買い物」「交通」「観光」「仕事」「医療」に関するものが多くありました。

① 移住定住

若者住宅を沢山増やすより、分譲をこれからは増やした方がいいと思います。若者住宅を出てからの住む場所を悩んでる方は沢山います。	30代 古里
家をたてたくて土地をさがしている若者がたくさんいます。氷川地区には空き家がかなりあるので、どうにかして家がたてれるように定住化に向けて町も動いてくれればよいのに…と思います。	30代 氷川
空屋などの有効活用として、いなか暮らしをしたい人達を支援する、事は良いと思う。もっと、空屋を活用してほしい。	60代 古里
若者住宅がない地域があるので、作ってほしいです。	40代 古里
若者定住に力を入れているが、必要だとは思いますが新築物件を何棟も建てるより、他の方法を考えて頂き高齢者にもう少し、不安をなくせるよう支援して欲しいとお願ひしたいです。	50代 古里
定住化について、他所からの転入についてはある程度実績を上げているかもしれないが、町内出身者の転出を止めないといけないのではないか。	40代 氷川

② 買い物

ここ数年、町内で閉店する商店が何店舗もありました。特に高齢の方は、買物に困っている方が多勢いるのではと心配しています。	60代 古里
町内のお店がなくなってしまう、高齢者の買い物等が困ってくるのでは？農協さんが車での引き売りを始めているが品物にもかぎりがあり必要な物の買物ができないのでは、又、町外で買うとやすく買える物が、町内では高くなってしまふ今の町内の状況を良く考えてほしい。	50代 氷川
商店などの閉鎖が続き、将来的に買い物難民になるのではないかという不安があります。インターネットを介して後継者を募集したり、それを専門に扱う企業に依頼するなど考えてもよいのではないのでしょうか。	30代 氷川
町内のお店がどんどん閉店してしまい、買い物に困る方(特に年配の方、お年寄り)が多くなっているのではないかと思うので、定期的な買い物への送迎をしてくれる等、対策を考えても良いのではないのでしょうか。	30代 小河内

③ 交通

電車の本数を減らされると外出する時に困るのでこれ以上、本数を減らさないでほしいです。	30代 古里
夜間帯のバス運行を増加する事で、買い出し、通院等、高齢者や障害者の負担軽減になると思うので検討して欲しい。又、登山者や観光客の増加にもなると思う。	30代 小河内
高齢者（後期高齢）で運転免許証を返納したときに、移動の交通手立てがない。利用すべく公共バスは、有っても電車との乗り継ぎが悪く時間を要して外出がしにくい。	60代 古里

④ 観光

自然をいかした、アスレチックとか花いっぱいの公園などがあると、観光客もふえると思う。	60代 古里
自然豊かで、観光が重要であるが、+aがなく、観光により収入が増えるための工夫が足りないと思う。小河内ダムは水源のため観光開発はむずかしいのかもしれませんが、名所となるような花などの植栽等でもっと人が呼べると思います。	50代 古里
観光客は年々増えているように思うが、比例して、まちにお金が落ちているのだろうか？宿泊客はともかく、日帰り客にお金を落としてもらえ場所が少ないと思う。また、仮に新たな事業をやる、場合に支援する仕組みが町行政としてあるのか？	30代 古里

⑤ 仕事

子育て支援は必要なことであると考えるが、あと10年、20年後の未来を想像すると、地元に残る若者は少ないと思う。就職する際には、仕事が町外になることが多く転居をする人が多い。地元には魅力ある仕事はない現状を、変化させる取組みが必要。	50代 古里
町で可能な仕事を増やす事に注力すべし。特に林業には更なる援助が必要、奥多摩の古来の仕事を未来へ存続させるべし。	20代 小河内
若い人達が働けるよう、会社や工場が奥多摩へきてくれればと思う。	60代 古里

⑥ 医療

町内の病院での子どもの予防接種が時間的に働いている親には難しいので、改善してもらいたい。受けたくてもなかなか受けることができず困ります。予防接種のために休みをとらないといけなくなってしまいます。	30代 小河内
今後若者の定住をすすめていくのであれば、医療機関、(小児科、産婦人科)等を充実してほしい。例え隔週であっても良い。また困った時の保健師、助産師さんの充実も。	40代 氷川
病院には、女医さんがいていただけると、相談しやすいと思います。婦人科検診も毎年無料としていただけると、病気への関心、健康維持につながると思います。	50代 古里

3. 資料

奥多摩町まちづくり住民アンケート調査

ご協力をお願い

平素より、奥多摩町の行政運営へのご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、奥多摩町では現在、平成27年3月に策定しました『第5期奥多摩町長期総合計画』に基づき、新たなまちづくりを進めております。この計画の推進に当たりましては、多くの住民皆さまのご協力を賜りますよう、改めてお願いを申し上げます。

さて、『第5期奥多摩町長期総合計画』は平成27年度から令和6年度までの10年間にわたる計画ですが、「住みたい 住み続けたい みんなが支える癒しのまち 奥多摩」づくりに向け、「人^もり 森林 清流 おくたま魅力発信！」というキャッチフレーズのもと、これまで以上に活力あるまちづくりを進めていく所存でございます。

そのため、このアンケート調査は、『第5期奥多摩町長期総合計画』の進捗状況を住民の皆さまの視点で評価していただくとともに、まちづくりに対する日頃のお考えや将来へのご意見、ご提案などをいただき、今後の行政運営に活かし、より良いまちづくりのために実施するものです。

時節がら何かとご多用のことと存じますが、これからの奥多摩町のために、ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年8月19日

奥多摩町長 河村 文夫

ご記入に際してのお願い

1. 本アンケートは、住民基本台帳から1,500名を無作為に抽出し、ご送付しています。したがって、アンケート票には可能な限りご本人がご記入ください。もし、ご本人がお答えになれない場合は、ご家族の方などのご協力をお願いします。
2. 該当する選択肢の番号を○で囲んでください。
3. ご記入が済みましたら、誠に恐縮ですが、同封の返信用封筒に入れて **9月9日(月)までに** ご投函ください。(※ 切手を貼る必要はありません。)
4. アンケート票は機械的に処理されますので、回答者ご本人が特定されることはありません。
5. 設問の内容には、記入される方が直接該当しない項目もあろうかと思いますが、その際は、客観的な考えで回答いただければ幸いです。
6. 記入の不明な点、調査についてのお問い合わせは、下記までをお願いします。

【お問い合わせ先】 奥多摩町 企画財政課 企画調整係

TEL (83) 2360 (直通)

【問1】 あなたの性別を選択してください。

1	男	2	女	3	その他
---	---	---	---	---	-----

【問2】 あなたの年齢を選択してください。

1	16歳～19歳	2	20歳～24歳	3	25歳～29歳
4	30歳～34歳	5	35歳～39歳	6	40歳～44歳
7	45歳～49歳	8	50歳～54歳	9	55歳～59歳
10	60歳～64歳	11	65歳～69歳	12	70歳～74歳
13	75歳以上				

【問3-1】 あなたご自身を含めた、同居されている方の人数を選択してください。

1	1人暮らし	2	2人	3	3人
4	4人	5	5人	6	6人以上

【問3-2】 同居されている方がいる場合、どなたと同居されているか選択してください。
(同居されているすべての方を選択してください。)

1	配偶者	2	子ども
3	父または母 (配偶者の父または母を含む)	4	祖父または祖母 (配偶者の祖父または祖母を含む)
5	孫	6	兄弟姉妹
7	その他 ()		

【問4】 あなたのお住まいの地区を選択してください。

1	古里	2	氷川	3	小河内
---	----	---	----	---	-----

【問5】 あなたは、現在の奥多摩町の住み良さをどのようにお感じですか。次の中から1つだけ選んで、番号に○印をつけてください。

1 住み良い	2 どちらかといえば住み良い
3 どちらかといえば住みにくい	4 住みにくい
5 どちらともいえない	
※ 3・4 選択の理由： ()	

【問6】 あなたは、これからも奥多摩町に住み続けたいですか。次の中から1つだけ選んで、番号に○印をつけてください。

1 住み続けたい	2 どちらかといえば住み続けたい
3 どちらかといえば住み続けたくない	4 住み続けたくない
5 どちらともいえない	
※ 3・4 選択の理由： ()	

【問7】 『第5期奥多摩町長期総合計画』では、住民の皆さまの幸福度向上を目指すこととしています。そのため、現在のあなたご自身の幸福度をどう評価しますか。

次の5つの幸福要素それぞれについて、「1(思う)」～「4(思わない)」の中から、1つずつ選んで、番号に○印をつけてください。

幸福要素	思う	やや思う	い あまり 思わな	思わない
あなたは「心身ともに健康である」と思えますか	1	2	3	4
あなたは「豊かな自然環境が守られている」と思えますか	1	2	3	4
あなたは「健やかに育まれている」と思えますか	1	2	3	4
あなたは「経済的に大きな不安がない」と思えますか	1	2	3	4
あなたは「地域社会やまちづくりに参加している」と思えますか	1	2	3	4

【問 8】 『第 5 期奥多摩町長期総合計画』では、目指す将来像の実現に向け『奥多摩創造プロジェクト』を重点的に推進することとしています。この奥多摩創造プロジェクトを推進するにあたり、現在の状況をあなたはどのように評価しますか。

次の 4 つのプロジェクト それぞれについて、「1 (進んでいる)」～「4 (進んでいない)」の中から、1 つずつ選んで、番号に○印をつけてください。

奥多摩創造プロジェクト	進んでいる	やや進んでいる	あまり進んでいない	進んでいない
<u>「出会い・暮らし」プロジェクト</u> 【主要な施策】 ・ふれ愛サポートセンターの拡充 ・奥多摩の魅力発信事業の推進 ・定住サポーターの設置・推進 ・若者定住応援補助金等制度の充実 ・良質で満足度の高い医療サービスの提供 (奥多摩病院)	1	2	3	4
<u>「子育て・教育」プロジェクト</u> 【主要な施策】 ・子ども家庭支援センター事業の充実 ・母子保健の充実 ・子ども・子育て支援推進事業の充実 ・子どもの考える力を育む教育の充実 ・国際交流活動の充実	1	2	3	4
<u>「仕事」プロジェクト</u> 【主要な施策】 ・就労相談窓口の設置・推進 ・企業等と連携した就労支援の実施 ・起業家や事業おこしの支援 ・町有地や町有財産を活用した企業等の誘致 ・女性に魅力ある職場・地域づくりの推進	1	2	3	4
<u>「住まい」プロジェクト</u> 【主要な施策】 ・空家相談窓口の充実 ・いなか暮らし支援住宅 ・町営若者住宅及び分譲地の整備 ・若者定住応援補助金等制度の充実 ・空家等の有効活用 (空家バンク制度等)	1	2	3	4

【問9】 『第5期奥多摩町長期総合計画』では、5つの行政分野に計17の施策の方向（主要施策）を定めています。この17の施策についての「満足度」、また、「今後の重要度」について、あなたの評価（お気持ちにもっとも近いもの）をそれぞれについて1～4の中から1つずつ選んで、番号に○印をつけてください。

分野別のまちづくり施策		満足度				今後の重要度			
		満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない
1-1) 誰もが元気で健康に暮らせる地域づくり		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①健康寿命の延伸 ②健（検）診体制の充実 ③地域医療体制の充実 ④医療保険制度の適切な運営								
1-2) 安心して子どもを産み育てる地域づくり		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①子育てを応援する地域づくり ②きめ細やかな対応が必要な子どもへの支援 ③若者のめぐりあい支援対策の充実								
1-3) 高齢者が生きがいをもって暮らせる地域づくり		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①高齢者が安心して暮らせる地域づくり ②適切な介護サービスの確保 ③高齢者の生きがいづくり								
1-4) 障がい者が自立して生活できる地域づくり		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①障がい者の地域生活支援の充実 ②障がい者の社会参加・雇用の促進								
1-5) 心のぬくもりと絆を持ち続けられる地域づくり		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①地域ぐるみでの支え合いの促進 ②福祉の地域づくりの推進 ③住民との協働による地域の活性化 ④生活弱者を支える地域づくり								

分野別のまちづくり施策		満足度				今後の重要度			
		満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない
2-1) 自然とともに歩むまちづくり		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①循環型社会の形成 ②豊かな自然・生態系の保全、環境まちづくりの推進 ③資源循環型社会形成、身近な生活ルールの普及 ④道路の整備 ⑤公共交通システムの充実 ⑥上下水道の整備								
2-2) だれもが住みたくなる心かようまちづくり		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①小さなコミュニティを活かす活動の促進・活気づくり ②女性の元気を活かすまちづくり ③高齢化に対応する防災体制づくり ④みんなの協力による防犯・空家対策 ⑤スローライフのPRによる住宅・若者定住対策								
3-1) みんなでチャレンジする生涯学習のまちづくり		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①大人を元気にする生涯学習プログラムの作成・推進 ②住民協働の教育のまちづくり ③人材交流のまちづくり								
3-2) 豊かな能力と強いところを育むまちづくり		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①奥多摩の教育の情報発信 ②新たな奥多摩教育の検討推進 ③奥多摩の教職員への支援 ④水源教育の実施 ⑤家庭での教育力の強化								
3-3) 誰もがスポーツ活動に参加するまちづくり		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①子どもの体力向上の推進 ②ニュースポーツの積極的導入と推進 ③スポーツ関係団体の連携 ④施設活用の充実								
3-4) 伝統と先進の文化・芸術にあふれたまちづくり		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①郷土芸能団体と行政の協力による、郷土芸能の保全 ②奥多摩の郷土芸能の情報発信 ③奥多摩芸術の情報発信 ④美術館の環境整備 ⑤美術品等の保管場所の確保 ⑥文化財の保全と継承								

分野別のまちづくり施策		満足度				今後の重要度			
		満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない
4-1) 奥多摩だからこそその体験・交流観光の展開		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①住民が元気になる交流観光づくり ②健康と癒し環境の提供 ③アウトドア活動の拡充 ④交通、宿泊施設等受け入れ環境の整備 ⑤観光商品企画の推進								
4-2) 奥多摩ならではの地域産業の推進		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①森林の整備と木質資源の活用 ②奥多摩産物の生産・出荷・販売の仕組みづくり ③起業、事業おこしの促進 ④観光との連携								
4-3) 観光・産業づくりを推進する力の強化		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①人材と組織の育成 ②奥多摩の情報提供と受発信の強化								
5-1) 官民協働による定住対策とまちづくり		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①官民協働による総合的な定住対策の推進 ②住民と行政による協働体制の構築								
5-2) 成果を重視した行政改革の推進		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①時代に対応した柔軟な行政組織と職員の育成 ②客観的評価に基づく行政評価制度の導入と公表 ③周辺市町村との連携による効率的な広域行政の推進 ④情報強化の推進とセキュリティの強化 ⑤広報・広聴の充実								
5-3) 身の丈にあった健全な財政運営の推進		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①計画的、重点的な財政運営の推進 ②財源確保による財政基盤の安定化の推進 ③身の丈にあった財政の健全化								

【問10】 『第5期奥多摩町長期総合計画』の基本計画において、住民の皆様の満足度を評価の指標とする主要施策があります。

あなたの評価（お気持ちにもっとも近いもの）を、以下の主要施策 それぞれについて1～4の中から1つつつ選んで、番号に○印をつけてください。

主要施策の評価指標	満足度			
	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である
「健康の自己管理意識の普及・啓発」の満足度	1	2	3	4
「生涯安心して暮らせる制度の推進」の満足度	1	2	3	4
「地域でお互いをささえあう環境づくり」の満足度	1	2	3	4
「循環型社会の形成」の満足度	1	2	3	4
「豊かな自然・生態系の保全、環境まちづくりの推進」の満足度	1	2	3	4
「資源循環型社会形成、身近な生活ルールの普及」の満足度	1	2	3	4
「町道や生活道路の整備」の満足度	1	2	3	4
「利用しやすい交通手段の充実」の満足度	1	2	3	4
「生涯学習の推進」の満足度	1	2	3	4
「健全な青少年の育成」の満足度	1	2	3	4
「奥多摩ならではの教育の実施」の満足度	1	2	3	4
「水源教育の実施」の満足度	1	2	3	4
「家庭教育への支援、推進」の満足度	1	2	3	4
「文化財の保護と活用」の満足度	1	2	3	4
「住民提案の活用や、住民と行政の協働」の満足度	1	2	3	4
「職員の対応等」への満足度	1	2	3	4
「施策評価実施結果」の満足度	1	2	3	4
「周辺市町村との連携」の満足度	1	2	3	4
「財源の確保」の満足度	1	2	3	4
「まちの財政の健全化」の満足度	1	2	3	4

